

令和2年8月17日

課題評価委員会における主な指摘事項

研究開発課題名	In vitro and in vivo characterization of host factor candidates targeting liver-stage malaria
研究開発機関名	大阪大学
研究開発代表者名	山本 雅裕

指摘事項

● 評価できる点

寄生虫領域においては全く新しい観点からマラリア原虫の分化を制御する宿主因子を明らかにし、マラリアの生活環における CXCR4 の関与と、創薬標的としての可能性を示した優れた研究成果が挙げられている。特に米国の関連分野での一流の研究者と、日本の若手新進気鋭の研究グループで、国際雑誌に共同研究成果を発表する等日本側の研究キャパシティの向上が得られたことは高く評価できる。

● 疑問点、改善すべき点

CXCR4 阻害剤である白血病治療薬の臨床試験や、世界のマラリア対策に資するための出口戦略を検討し、新しい治療法の開発に発展することを期待する。

以上